

出戸駅

80分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線 出戸駅

うりわり
瓜破遺跡の瓜破台地

高僧・道昭や空海にまつわる瓜破伝承を訪ねて

古代に住吉津と大和を結んだ磯齒津路(現・長居公園通)の北側が長吉出戸、南側が瓜破と長吉長原という地名です。江戸時代に出戸村や瓜破村がありました。瓜破は、飛鳥時代に道昭法師がこの地に降臨したご神体に瓜を割ってお供えしたという伝承や、空海が高野山に通うとき村人から瓜を供されたという伝承からとされています。



スタート駅

出戸駅
谷町線

(3)号出口

1 長原古墳群

2 成本廃寺
成本天神社

3 宇利和利城跡
花塚山古墳

約 80 分
4 瓜破遺跡・瓜破廃寺
大阪市設瓜破靈園

5 小松神社

6 敬正寺・道昭瓜破伝承
瓜破天神社

7 中高野街道
8 空海瓜破伝承
9 大和川

喜連瓜破駅
谷町線

上町台地と生駒山地に挟まれたこのあたりは瓜破台地と呼ばれて、河内湖の南岸にあたります。瓜破台地一帯に広がる瓜破遺跡には旧石器時代から江戸時代までの遺物が発掘され、大阪で最も古い文明がかたちづくられた場所のひとつです。

出戸駅
80分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線 出戸駅

瓜破遺跡の瓜破台地

高僧・道昭や空海によつわる瓜破伝承を訪ねて

古代に住吉津と大和を結んだ磯齒津路(現・長居公園通)の北側が長吉出戸、南側が瓜破と長吉長原という地名です。江戸時代に出戸村や瓜破村がありました。瓜破は、飛鳥時代に道昭法師がこの地に降臨したご神体に瓜を割ってお供えしたという伝承や、空海が高野山に通うとき村人から瓜を供されたという伝承からとされています。



谷町線出戸駅③号出口

谷町線喜連瓜破駅

1 長原古墳群

このあたりから5世紀頃の小型方墳跡が200基以上発掘され、古墳時代のなかでも注目される遺跡(埋没)となっています。近くからは旧石器から中世までの石器、埴輪、土師器などが出土した複合遺跡が確認されて、長原遺跡と名づけられました。



2 成本天神社・成本廃寺

成本天神社は成本村の氏神でしたが、明治時代に瓜破天神社に合祀されていたのを昭和61年(1986)に成本町の氏子が再建しました。天神社の南側の位置に、昭和51年(1976)に飛雲文軒平瓦が発見されたことから、8世紀頃に寺院があったと推測され成本廃寺と呼ばれています。



3 宇利和利城跡

瓜破東小学校の西側あたりは、楠木正成の三男である楠木正儀の居城・宇利和利城があつたと推定されています。かつてこのあたりは城山と呼ばれていましたが、遺構などは全く残っていません。



4 花塚山古墳

瓜破靈園内にあって瓜破台地の瓜破古墳群に位置する古墳で、地域の氏族によって5世紀頃に造られたとされます。直径25mあり、幅約5mの周濠があったと推定されます。この付近に同様な古墳が多数あったことが『摂津志』や『河内志』などの地誌によってうかがえ、大阪市内に現存する数少ない古墳のひとつです。



5 大阪市設瓜破靈園 瓜破遺跡・瓜破廃寺

瓜破靈園は昭和15年(1940)に開設された大阪市内最大の靈園です。靈園全体が瓜破地区全域に広がる瓜破遺跡内に含まれ、靈園の中央部で奈良時代の瓦や埴輪(瓦状の仏像)が出土して瓜破廃寺の存在が推定されています。また、園内に瓜破遺跡の花塚山古墳やゴマ堂山古墳があり、靈園南には飛鳥時代の役所とされる掘立柱建物群の跡が見つかりました。近くの瓜破会館内に瓜破遺跡の展示があります。



6 小松神社

紀伊の国の武将・湯浅宗光が瓜破に住んでいたとき、小松殿と称された平重盛が熊野灘で入水したことを悼んで小松大明神を創建したと神社の由来にあります。しかし、寿永3年(1184)に実際に入水したのは重盛の子・平維盛たいいのこれもりで、小松大明神が重盛か維盛か定かではありません。



7 敬正寺・道昭瓜破伝承

白雉4年(653)に遣唐使として入唐した僧・道昭は法相宗を学んで帰国し、飛鳥の法興寺に禅院を興して行基の師となった高僧で、この地に永楽寺を創建しました。永楽寺は現在の瓜破靈園を含む広大な寺域を持っていましたが、火災で縮小し、寛永2年(1625)に敬正寺と改称しました。永楽寺の本尊のうち大日如来と阿弥陀如来の石像が境内に安置されています。旅で疲弊した道昭に、村人が瓜を割って献上したところ元気を回復し、村人のために永楽寺を建立したという瓜破伝承があります。



8 瓜破天神社 道昭瓜破伝承

瓜破に住んでいた道昭が三蜜の教法を觀念していたとき、天神像が現れ、瓜を割って供えたというが最もよく知られた瓜破伝承ですが、道昭がこの天神像を祀ったとする祠が瓜破天神社の創始だとされています。



9 中高野街道・空海瓜破伝承

中高野街道は、平野から喜連、瓜破を経て河内長野で西高野街道と合流して高野山へ向かう参詣道です。大和川の付け替えで分断されましたが、新大和川には瓜破渡しができました。街道が形成される以前に、空海が高野山へ通った道がこの道で、空海に村人が瓜を割って勧めたという瓜破伝承もあります。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。
なお、掲載している情報は2024年4月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先) 大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp
後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または 大阪あそ歩 で検索

駅スタンプ押印欄

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内の写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。



毎月第1金曜日発行